

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2016年4月～2017年3月

1. 学校概要

学校名 名古屋市立東築地小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒455-0023
愛知県名古屋市港区東築地26番地

E-mail higashitsukiji-e@nagoya-c.ed.jp

Website http://www.higashitsukiji-e.nagoya-c.ed.jp

児童生徒数 男子 257名 女子 259名 合計 516名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【1・6年 堀川の周りをきれいにしよう】

1年と6年がペアになり、堀川の防波堤沿いを歩きながら、ゴミを拾う清掃活動を行った。川の中だけでなく、外のゴミにも目を向けることで、環境への意識を高めることができた。



【2年 学区の自然を調べよう】

学区にある公園やブルーボネットに咲く草花を観察する機会を設けることで、学区にある自然に関心をもたせることができた。高層マンション住宅に囲まれて生活している児童たちではあるが、身近な自然を感じ取っていた。

【3年 堀川的环境について調べよう】

堀川の清掃活動をしている清港会を見学した。実際に堀川を浄化する船を見せていただき、初めて見る船に児童たちは大きな歓声をあげていた。そして、川をきれいにすることの苦勞と必要性を学び、自分たちができることを考えることができた。



【4年 名古屋港スタディーツアーに参加しよう】

実際に船に乗ることで、海側から見た名古屋港を見学することができた。藤前干潟と比べると、生き物や植物はとても少なく、倉庫や工場が多い学区の特徴に気付くことができた。職員の方は児童の質問に対して、丁寧に答えていただき、知らなかった名古屋港の役割を教えていた。



【5年 港区で安全に生活できるようにしよう】

沿岸部特有の災害(津波)から身を守ることの重要性を、図書資料や港防災センターなどで学習した。これまでに学んだことを「壁新聞」や「学区の防災マップ」に作成し、一年間の成果を廊下に掲示して発表した。これまでの活動を通して、防災意識をより高めることができた。



